

# 山田みやこの活動報告

令和7年6月17日（火）

会派視察 鹿沼市

## ① 鹿沼市長表敬訪問

昨年まで同会派幹事長だった松井正一市長への表敬訪問

## ② 特定非営利活動法人CCV視察

理事長 福田由美さんより

CCVの活動

☆障害、福祉サービスとして

- 1) 生活介護（CCVダック）、日中一時支援
- 2) 就労継続B型（CCVウェルフェア）
- 3) 自立訓練（生活支援）、就労定着支援（CCVトランジションセンター）
- 4) 児童発達支援、放課後等デイサービス（CCV Epic）
- 5) グループホーム（ベルコーポ、パインガーデン）

☆教育として

- 1) フリースクール  
小中学部・専攻科・高等部・大学（CCV学園）
- 2) 鹿沼市委託学習支援いちご塾
- 3) 運転免許取得支援（あおぞらプラン）

※「多様性をともに生きる」ということを活動テーマに一人一人が必要とする支援事業を立ち上げ、温かく柔らかな雰囲気ですぐ人と人が関わり合える拠点づくりをしている福田由美理事長のネットワーク機能作りのすばらしさと、人の心の持つ苦しみや弱さに寄り添い安心できる場の提供を作り上げる現場を見学させていただいた。

## ③ 思川開発事業の概要

南摩ダムと導出施設

工期 昭和44年～令和8年

総工事費 約2,100億円

目的 思川、利根川の洪水防御、流水の正常な機能維持  
水道用水の供給（栃木県、鹿沼市、小山市、古河市、五霞町、埼玉県、北千葉広域水道企業団）

貯水池容量配分

総貯水容量 51,000千㎡

有効貯水容量 50,000千㎡

・流域間での水融通による水資源開発

黒川・大芦川は干害期、非干害期毎に取水制限、流量を設定し、これを上回る豊水時に限り取水を行い、導水路にて南摩ダム貯水池へ導水し貯留する。流量が少ない渇水時は送水路、導水路にて南摩ダム貯水池から貯留水を補給する。

・薄層転圧工法（CFRD）の本格的なダム（遮水性を持たせる構造のダム）

・環境保全の取り組み

環境への影響を軽減するため、具体的な保全対策をモニタリング  
希少動植物の適切な保全対策  
工事に伴う動植物の生息、生育環境配慮  
郷土種による植生復元、小動物に配慮した施設整備

・家屋移転

平成20年6月に貯水池内の住民の人々の移転完了  
集団移転31世帯、個人移転49世帯



# 山田みやこの活動報告

## ④水源地域振興拠点施設整備事業

### 「スノーピーク鹿沼キャンプフィールド&スパ」

ダム事業による生活環境への影響緩和と水源地域である交流拠点として「癒し」「遊び」「学び」「集う」の場として地域活性化を図る目的。

公募により株式会社スノーピークを指定管理者に選定。

6つの機能として、温浴、農村レストラン、物販（農産物直売）、食品加工所、体験学習、キャンプ場・多目的広場。

整備費 約22億2,000万円

補助金

国庫補助 3億7,000万円

関係自治体・団体から 12億4,000万円

鹿沼市 6億1,000万円

※キャンプ場の県外からの利用者 約3/4となっている

